

自然をしらべ、 自然を活かす地域づくり

主催：環境省生物多様性センター，公益財団法人 日本自然保護協会

日時：2015年 **12月12日** (土) **10:00-16:30** (受付 9:30-)

会場：アオーレ長岡 市民交流ホール B・C (新潟県長岡市大手通1-4-10, 長岡駅から徒歩3分)

近年「里やま」は、農林業のための生産の場としてだけではなく、持続可能な自然資源の利用の場、そして集落や水田、二次林などの変化に富む環境を有し、多くの生き物を育む場として注目を浴びています。

こうした里やまを舞台に、伝統的な暮らしの知恵の伝承や地域づくりなど、全国では実にさまざまな活動が実施されています。これらの活動の基本となるのは、地域の自然や文化を知り活かしていくことです。

この度、全国の里やまで行われている市民による調査活動を事例に、里やまでの市民調査を地域づくりに活かすことの意義を発信する「全国里やま市民活動フォーラム」を開催します。午前中にはシンポジウムを行い、各地での活動報告から、地域の自然・文化を知り里やま保全や地域づくりにつなげることの重要性を伝えます。午後からは、全国各地で行われている市民調査の現場に関わる方々から、各調査地の特徴や日頃の活動の様子などについてお伝えいただくポスター発表会を行います。

お申込み できる限り事前にお申込みください。お申込み方法は、下記申込みフォームにお答えいただくか、下記連絡先まで **①お名前、②ご所属、③メールアドレス等のご連絡先をお知らせください。**

参加費 無料

申込み〆切 2015年12月9日(水)まで

お申込み先・お問合せ先



日本自然保護協会
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

■ 申込みフォーム：<http://goo.gl/forms/WL69eALaLd>

■ 連絡先：〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F
Tel：03-3553-4104 Fax：03-3553-0139
E-mail：satoyama@nacsj.or.jp

プログラム

本フォーラムでは、全国の市民調査「モニタリングサイト1000里地調査※」などの市民活動の事例を紹介し、市民が担い手となった里やま保全や地域づくりの重要性をお伝えします。



■ 講演会

10:00～13:00

開会のあいさつ

最上 祥成（環境省生物多様性センター）

基調講演「地域の自然を活かしたまちづくり」

白川 勝信（芸北 高原の自然館）

講演者プロフィール：北広島町立 芸北 高原の自然館主任学芸員。生態系を形づくり・維持してきた「人の営みの歴史とその未来」に興味を持ち、湿原、草原、里山林をフィールドに、観光や教育と、生態系保全との一体化に取り組んできた。地域住民と地域外住民のいずれもが地域の自然に関わることができるような今日的な農村社会の実現を模索中。現在、北広島町芸北地域で、里山景観の再生を目指し、地域経済に組み込んだ木材資源の循環の構築に携わっている。



～各地域の事例～

「お酒を育む里づくり」

西山 拓（公益財団法人 こしじ水と緑の会）

こしじ水と緑の会は、朝日酒造が新潟県内の自然保護を進めるために設立した団体です。朝日酒造の自然保護のきっかけともなったのが、地域の方と一緒にやってきた地元・越路町（現長岡市）でのホタルの保護活動でした。「質のいい酒づくりに不可欠な『良質な水と米』を育むために、自然を大切にしたい」という理念のもとはじめたホタルの保護活動は、地元町民主体のまちづくりへと展開しています。

「人と人を結び、土地に根ざした学びの場をつくる」

萩野 由紀氏（まるやま組）

石川県・奥能登にはアエノコトという農家が田の神様に収穫の感謝と豊穰を願う農耕儀礼があります。まるやま組では、田んぼの生物モニタリング調査でわかった生物多様性を、稲の成長を助ける田の神様と見立て少し趣向を変えたアエノコトを行ないます。伝統と科学。一見相容れない二つの学びをつなぎ、様々な人々が里山の価値を共有し学び合う場づくりをしています。

「『身近な自然』を未来につなぐ全国市民調査の取り組み」

高川 晋一（公益財団法人 日本自然保護協会）

■ ポスター発表会

14:30～16:30

ポスターを利用して、全国各地のモニタリングサイト1000里地調査の調査員の方に、サイトでの調査活動の様子などを紹介いただきます。

※「モニタリングサイト1000里地調査」とは

モニタリングサイト1000とは、全国約1000カ所の調査サイトで100年間の自然環境モニタリング調査を目指す環境省のプロジェクトです。このうち200カ所の里やまで調査を行う「モニタリングサイト1000里地調査」は、2008年から日本自然保護協会と全国の市民調査員が協力して調査をしています。調査地では、調査活動のほかにも、里やま保全活動や伝統的な暮らしの伝承など多様な活動が繰り広げられています。



お問合せ先



日本自然保護協会
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

■ 連絡先：〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F
Tel：03-3553-4104 Fax：03-3553-0139
E-mail：satoyama@nacsj.or.jp